



# 平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成 17年 2月 10日

上場会社名 日本油脂株式会社

(コード番号：4403 東証第一部)

(URL <http://www.nof.co.jp>)

代表者 代表取締役社長 中嶋 洋平

問合せ先責任者 経理部長 高林 建一 ( 03 - 5424 - 6600 )

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

( 投資者等利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。 )

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結(除外) 3社

## 2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況 (平成16年4月1日～平成16年12月31日)

### (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	97,443	4.1	6,197		6,739		3,840	
16年3月期第3四半期	101,616							
(参考)平成16年3月期	137,478		7,599		7,547		4,083	

	1株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	19.15	18.03
16年3月期第3四半期		
(参考)平成16年3月期	19.86	18.80

(注) 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示します。

前期は売上高のみ開示しましたので、売上高以外の前年同四半期の数値及び増減率については記載しておりません。

### [経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成16年4月1日から平成16年12月31日までの9ヶ月間)のわが国経済は、期初は好調な輸出や設備投資、個人消費の持ち直しなどを背景に、企業収益や企業の景況感に幅広い分野で改善が見られましたが、後半は輸出の減速、IT関連製品の在庫調整、個人消費の鈍化、更には円高傾向などがあり、今後の経済動向は予断を許さない状況にあります。

当社を取り巻く事業環境におきましても、油脂原料価格や石油関連原材料価格が高止まりするなか、国内外における企業間競争が一段と激化するなど厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社は既存事業の強化と新規事業の早期育成に注力すると共に、高付加価値製品の拡販に努め、収益基盤の強化を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期の売上高は974億4千3百万円となりました。前年度来実施いたしました連結子会社の譲渡による売上高減少の影響を受け、前年同期と比べ4.1%の減収となりましたが、現有事業の前年同期比較では売上高は増収となりました。営業利益につきましては原材料価格高騰の影響を受けましたものの61億9千7百万円となり順調に推移しました。また、経常利益は67億3千9百万円、当期純利益は38億4千万円となりました。

各セグメント別営業状況は次のとおりであります。

#### 油脂製品事業

脂肪酸はほぼ前期並でしたが、脂肪酸誘導体は、関連需要業界である合成樹脂業界の需要好調に支えられたこと、また、重点的に市場開拓を進めてきた電子材料分野への出荷が増加したことから売上高を伸ばしました。食用加工油脂は製菓製パン業界における消費者の嗜好の多様化や販売競争の激化など厳しい状況下ではありましたが、当社の独自技術を駆使した改質材が好評であったこと、また健康食品関連は関連業界が好調であるなか、医療栄養食品分野に新製品を投入したことなどもあり売上高を伸ばしました。

油脂製品事業の売上高は415億3千7百万円、営業利益は油脂原料価格の高騰などにより8億1千1百万円となりました。

## 化成製品事業

有機過酸化物の売上高はほぼ前年並でしたが、ポリブテンおよび無水マレイン酸の売上高は増加しました。反射防止フィルムはプラズマディスプレイパネルなど大型薄型画面テレビの在庫調整や低価格品へ需要がシフトしたため、売上高は伸び悩みました。

エチレンオキサイド・プロピレンオキサイド誘導体は、化粧品原料として新しい機能を付与した新製品を展開したことにより売上高を伸ばしました。生体適合素材のMPC関連製品は、スキンケア市場、ヘアケア市場においてMPCの保湿性と皮膚及び毛髪保護効果が高く評価され、海外大手メーカーに採用されるなど、売上高は増加しました。電子材料については液晶用カラーフィルター関連材料を中心に着実な展開を図り、新規顧客獲得を進めました。DDS医薬用製剤原料については新規顧客開拓に注力し売上高は増加しました。

特殊防錆処理剤・防錆加工事業については、自動車部品業界をはじめとする国内外の需要増により売上高は増加しました。

化成製品事業の売上高は344億9千1百万円、営業利益は37億5千5百万円となりました。

## 火薬・加工品事業

産業用爆薬は需要減少の影響により、また、ロケット用推進薬は打ち上げ計画変更により売上高は減少しました。一方、自動車用安全部品は、国内生産のシートベルト用ガス発生器の拡販を着実に進め、売上高を伸ばしました。

火薬・加工品事業の売上高は200億7千2百万円、営業利益は14億7千8百万円となりました。

## その他の事業

運送事業及び不動産事業は前期並に推移しました。

その他事業の売上高は13億4千万円、営業利益は1億4千8百万円となりました。

## (2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	191,641	75,303	39.3	375.34
(参考)平成16年3月期	190,159	72,271	38.0	360.20

(注)当期より開示しますので、前年同四半期の数値については記載しておりません。

### [財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ14億8千2百万円増加し、1,916億4千1百万円となりました。

資産は、売上債権及び棚卸資産が一時的要因により39億9百万円増加したこと等により、現金及び預金が43億2千3百万円減少しました。投資その他の資産は投資有価証券をはじめとして18億1千4百万円増加しました。

負債は、16億2千万円減少しました。主に流動負債の設備関係債務等が減少しましたが、一方、仕入債務及び有利子負債は増加しました。

資本は、主として利益剰余金の増加等により30億3千1百万円増加しました。

## 添付書類

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、セグメント情報

以上

## [参 考]

平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	134,000	8,500	5,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 24円 92銭

### [業績予想に関する定性的情報等]

当社グループの業績は概ね予想通りに推移しており、業績予想の見直しは行なっておりません。

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

〔添付資料〕

## 1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期末 (平成16年12月31日現在)	前連結会計年度末 (平成16年3月31日現在)
	金 額	金 額
( 資 産 の 部 )		
流動資産	75,451	75,022
現金及び預金	8,379	12,703
受取手形及び売掛金	35,574	34,334
たな卸資産	22,472	19,803
その他	9,024	8,180
固定資産	116,190	115,137
有形固定資産	61,521	62,188
無形固定資産	1,104	1,198
投資その他の資産	53,564	51,750
資産合計	191,641	190,159
( 負 債 の 部 )		
流動負債	64,676	76,146
支払手形及び買掛金	24,431	23,374
短期借入金	21,317	15,522
1年内償還予定社債		9,000
1年内返済長期借入金	3,006	7,269
未払費用	6,779	8,343
その他	9,140	12,636
固定負債	48,232	38,381
社債及び長期借入金	31,363	21,365
退職給付引当金	4,609	5,109
その他	12,259	11,907
負債合計	112,908	114,528
( 少 数 株 主 持 分 )		
少数株主持分	3,430	3,359
( 資 本 の 部 )		
資本金	15,994	15,994
資本剰余金	13,377	13,381
利益剰余金	37,468	34,965
その他有価証券評価差額金	9,843	9,513
為替換算調整勘定	666	816
自己株式	715	767
資本合計	75,303	72,271
負債、少数株主持分及び資本合計	191,641	190,159

## 2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期 〔自平成16年4月1日〕 〔至平成16年12月31日〕	前連結会計年度 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成16年3月31日〕
		金 額	金 額
売上高		97,443	137,478
売上原価		71,441	101,009
売上総利益		26,001	36,468
販売費及び一般管理費		19,803	28,869
営業利益		6,197	7,599
営業外収益		1,420	1,491
営業外費用		879	1,543
経常利益		6,739	7,547
特別利益		627	2,804
特別損失		328	2,081
税金等調整前 四半期(当期)純利益		7,037	8,270
税金費用		3,086	3,965
少数株主利益		110	221
四半期(当期)純利益		3,840	4,083

### 3. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期

(単位：百万円)

	油脂製品 事業	化成製品 事業	火薬・加工品 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	41,537	34,491	20,072	1,340	97,443		97,443
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	17	921	22	3,268	4,229	(4,229)	
計	41,555	35,412	20,095	4,609	101,672	(4,229)	97,443
営 業 費 用	40,743	31,656	18,617	4,460	95,477	(4,232)	91,245
営 業 利 益	811	3,755	1,478	148	6,194	3	6,197

前連結会計年度

(単位：百万円)

	油脂製品 事業	化成製品 事業	火薬・加工品 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	52,326	48,236	35,090	1,824	137,478		137,478
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	398	1,171	266	3,325	5,161	(5,161)	
計	52,724	49,408	35,356	5,150	142,640	(5,161)	137,478
営 業 費 用	51,294	44,890	33,787	5,071	135,044	(5,165)	129,879
営 業 利 益	1,430	4,517	1,569	78	7,595	3	7,599